

平成28年度 8時間連続水質調査計画書

平成28年9月6日

鯉城・堀川と生活を考える会

調査の目的 堀川の最大の特徴は、自主水源を持たない感潮河川である。
(下流において流速や水位が潮の干満の影響を受けて変動する河川のこと)
当会としては、感潮河川の経時的な変化のなかでの水質調査・景色の変化
生き物を観察することで、堀川の豊かさを見いだすことを目的とする。
今年度は、干潮時から満潮時に於ける採水とする。

調査地点 元杵樋門、志賀橋、中土戸橋、納屋橋、山王橋、瓶屋橋、大瀬子橋、港新橋

調査月日 平成28年9月27日(火) 予備日 平成28年10月12日(水)
干潮 9:33 干潮 8:45
満潮 16:13 満潮 15:34

調査回数・時刻

9月27日(火)			予備日 10月12日(水)		
回数	調査時刻	記事	回数	調査時刻	記事
1	9:30	干潮	1	8:30	干潮
2	10:30		2	9:30	
3	11:30		3	10:30	
4	12:30		4	11:30	
5	13:30		5	12:30	
6	14:30		6	13:30	
7	15:30		7	14:30	
8	16:30	満潮	8	15:30	満潮

調査方法 調査項目毎にパックテスト、機器テスト、官能検査、観察により現地で行う。

但し、DO測定については、8月4日の理事会にて決定
パックテスト PH、COD(高、低)、NH4(アンモニウム態窒素)
機器テスト 気温、水温、塩分、透視度、
官能検査 臭気
観察 川の色、水の色、
川の内外の生き物、川面の様子他、

調査担当箇所 28年度は次の8か所を各期で担当する。
(年間行事予定とする)
元杵樋門 18~20期・29期 山王橋 23期
志賀橋 21期 瓶屋橋 25・26期
中土戸橋 22期 大瀬子橋 28期
納屋橋 24期 港新橋 27期

採水方法 各測定点とも橋(川)の中央部で表層水を採水する。
塩分は、マニュアルp17、18に基づき行う。

調査手順書 “水質分析マニュアル”(KTS-2013)に基づく。

添付資料 8時間連続調査記録紙 2016年版(各測定点)
現地使用機材薬品等リスト 各担当調査場所ごとで確認してください。

追記

1) 当日の実行について

当日は、小雨程度では実行します。

当日雨が降りそうな場合は、雨具の用意をして下さい。

最終判断は、NHK6時58分頃の天気予報に於いて、**降水確率40%以上**の場合は、**延期**とする。

2) 各橋の水質調査について

調査記録紙に基づき、各時間に確実に調査を実行して下さい。